



## ウィーン留学記 2015.3 ~ 2016.2

◇ 今回は、平田明寛さん（首都大学東京卒業）のウィーン留学記です！

私は、首都大学東京経営学系に入学し、3年生の3月から4年生の2月まで交換留学生としてオーストリアのウィーン大学に留学いたしました。

### 留学の動機、理由

高校に入学する前から、「人生を通して人と違った経験をしたい」と漠然と考えていました。その時に留学というのははじめに思い付いた選択肢でした。大学に入学したら必ず留学しよう、そう考えながら高校生活を過ごしていました。

大学の選択をする際にも、交換留学で行ける海外の協定校がどれだけの数、またどの国があるのかを判断材料にしていました。そしてウィーン大学との協定がある首都大学東京に進学を決めました（東京に行きたかったというのもありました）。

ウィーン大学を選んだ理由としては、公用語がドイツ語であることと、高校時代は吹奏楽部でもあり音楽に興味があったことの2点が大きいです。

関高校の卒業生で留学をする人は多いです。しかし、英語圏の国に行く人がほとんどなことも事実です。私はもともと留学の理由が、上記に記したように「人と違った経験をしたい」だったので、別の言語でチャレンジしたいと考えました。



【ドイツ語圏で最も歴史のあるウィーン大学の本館】

### 留学の経緯

そもそも留学にはいくつか種類があります。

- ・ 交換留学—期間は半年～1年間。費用は最も安く、協定校で得た単位も取得できる。
- ・ 私費留学—大学の制度と関わりなしに、個人もしくは第三機関の助力を得てする留学。
- ・ 語学留学（短期留学）—期間は1ヶ月～3ヶ月が多い。大学によってはその制度がある。

以上の3種類が大方ではないでしょうか。

内容は機関によって異なるので、すでに留学を考えている方はよく確認すべきです。私は先述のように交換留学です。そのメリットは多いのですが、試験が課せられるので要注意です。特に問われるのは何故留学したいかということです。きっかけは私のように何でもいいのですが、大学から奨学金等をも

らって留学するには納得させられるための理由が必要です。現地でしかできない勉強がどういったものなのか、そこを認識して根拠として裏付けることが求められます。

## 現地での生活

首都大学東京ではオーケストラに所属し、トロンボーンを演奏していました。その時の先生の紹介でウィーンでも先生に師事することができ、楽器を続ける運びとなりました。現地でもオーケストラに所属し、まさに音楽の都ウィーンでの生活を満喫したと自負しています。



【ドナウ川の景色】

美しく青きドナウで有名のシュトラウスもウィーン生まれ

言語ですが、大変苦労しました。挨拶と基本知識はあったのですが、留学前に会話の練習を怠っていたために日常会話ができるようになるまでにかなりの時間を要しました。自分のことを社交的な性格だと思っていたのですが、話したくても話すことができない苦しみを22歳にして実感しました。最初の3ヶ月はひたすら語学の勉強。新聞を読み、ニュースを見て、そして初めて会う人にも積極的に話しかけていました。努力は実を結び、帰国する前には、ドイツ語圏の大学に入学できるまでの語学証明、また現地で働く権利のある語学レベルを取得しました。

逆に、同時期に留学した友人で、単語・文法そして自然な言い回しもよく知っている子がいましたが、とても内向きな性格でした。会話をしなかったために言語は上達せず苦しそうな様子だったことを覚えています。そこで学んだことがあります。『言語能力は性格を制限し、性格は言語能力を制限する』ということです。

性格が関係する以上難しい問題ではあるかと思いますが、1年間留学した私から見ればぜひ大事にしてもらいたい考え方です。



【オーケストラで共演した仲間たち】

## 留学で学んだこと

私がウィーンにいる時にヨーロッパを揺るがす事件が起きていました。難民問題です。中東・アフリカからの難民が大量にヨーロッパに押し寄せ、EUのシェンゲン協定が一時的に破綻する出来事さえ起きました。シェンゲン協定とは加盟国の国境をパスポートなしで移動できるEUの代表的なシステムです。その後、難民に反対する右派が台頭し始めました。リアルタイムで現場を見て、その光景は衝撃的でした。町にあふれる難民。頻繁に行われるデモ運動。過激な主張が次々と政治家たちの口が発せられました。どちらの主張が的を得ていてその根拠は何か、必死に調べました。

結局このテーマが卒業論文へとつながり、今でも興味の絶えない問題です。

日本では感じられないことが必ずあります。現地でしかない空気、それは必ず人生の大きな糧になるはずです。留学に限らずですが、みなさんが貴重な多くの経験をできるようにぜひアクションを起こしてみてください。



【ウィーン市庁舎の前で開催されるクリスマスマーケット】

## さいごに

留学した1年間は私の人生にとって最も重要な年でした。しかし、その1年間は高校時代で過ごした日々があって成り立つものです。音楽にふれ楽器をはじめ、恩師に出会えて、切磋琢磨した友人がいました。高校のうちからできることを前倒しで実践してみてください。何か気になることがあればいつでも連絡お待ちしております。

みなさまの高校生活を心より応援しております。